

絆

清水はやと ニュースレター

KI-ZU-NA

さいたま市長
清水はやと

2021(令和3)年4月号



【プロフィール】 昭和37年3月生まれ。日本大学法学部卒業。(公財)松下政経塾卒塾(第7期生)。衆議院議員公設第一秘書、埼玉県議会議員(見沼区)2期を経て、平成21年さいたま市長選に初当選。平成25年、得票を大きく伸ばして再選。平成29年、3選を果たす(現在3期目)。著書に『2010年霞ヶ関物語』(二期出版)、『犯罪のない安全なまちをつくろう』(共著/埼玉新聞社)、『さいたま市未来想像図』『スポーツで日本一笑顔あふれるまち』『もっと身近に、もっとしあわせに』『子どもが輝く絆で結ばれたまち』『人と人を絆で結ぶスマートシティ』(埼玉新聞社)などがある。さいたま市社会福祉協議会会長、指定都市市長会副会長ほか。平成25年「マニフェスト大賞 首長グランプリ」受賞。

市民とともに、希望へ「シンカ」

深化・進化

さいたま市誕生20年の節目に

さいたま市は2001(平成13)年5月1日、浦和・大宮・与野の3市対等合併により誕生し、2年後に全国で13番目の政令指定都市へ移行しました。さらに、2005(平成17)年4月1日の岩槻との合併を経て、日本を代表する132万都市へ成長しています。

今年、さいたま市誕生20年の節目です。私はさいたま市を「One Team」にするべく、「市民の日」や「市民憲章」の制定など、新時代を見据えた様々な取組を進めたいと思います。

一方で、世界中を席巻している新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、終息の兆しが見えません。ようやくワクチン接種が始まってきたところですが、国からのワクチン確保や接種に関する情報提供が遅れており、都道府県・市区町村の現場では、準備を十分に進められない状況が続いています。

このような状況下にあっても、私は市民の生命を守ることが、地方自治体の長として最重要であると認識しており、様々な機会を捉えて、政府・与党関係者へ要望等を行うとともに、様々なケースを想定して、市内の医療関係者をはじめとした皆さんと連携した準備を進めています。この取組を実効性あるものとするために

は、医療提供やワクチン接種にかかる体制を崩壊させないことが必要です。そのためには、新規感染者数を減少させ、入院者数、重症者数を減少させることが必要です。これらのことを念頭に、市民の皆さんには、改めて感染対策の徹底など、引き続きの協力をお願いします。

皆さんとの絆を強固に 力と英知を結集して

さて、さいたま市誕生以来20年にわたって、市民の皆さんの御尽力で結ばれてきた人と人の絆(きずな)、まちづくりに関わる様々な事業者・大学・団体等の皆さんとの絆は、素晴らしいものがあります。皆さんとの絆をさらに強固にし、力と英知を結集して進んでいくことで、さいたま市を『市民とともに、希望へ』つなぐ街にしたいと思えます。

さいたま市の重要な節目に当たり、私は責任と共感・共汗、徹底した現場主義、公平・公正・開かれた市政、という基本姿勢をさらにステツプアップし、さいたま市を「シンカ(深化・進化)」させなければいけないと考えます。ぜひ皆さんと一緒にさいたま市を『シンカ』させましょう!

新型コロナウイルス対応に『実行力』

感染対策と手厚い生活支援 予算総額 約**2,120**億円

※うち令和3年度予算額約236億円、令和2年度予算額約1,884億円

身近な市内約300カ所で
PCR検査可能

検査・医療体制整備 約**196**億円

- 新型コロナウイルスワクチン接種
- 病床確保や設備整備を行う医療機関等への補助
- 地域外来・検査センターの運営
- 保健所における相談体制の強化
- 保険適用された検査費用及び入院医療費の公費負担等
- 妊婦に対するPCR検査等
- 集団感染が発生した商店街におけるPCR検査等
- 高齢者施設・障がい者施設の新規入所者や従業者等へのPCR検査費用の補助・拡充
- そのほか様々な施策を展開

ひとり親家庭への給付金
市独自支援

生活支援・サービス向上 約**1,390**億円

- 特別定額給付金の支給
- 子育て世帯への臨時特別給付金の支給
- ひとり親世帯等に対する給付金の支給
- 生活困窮者に対する住居確保給付金
- 保育園等への登園自粛に協力した保護者への支援
- GIGAスクール構想の推進
- 避難所における災害用備蓄品の購入
- 税証明交付申請手続きのオンライン化や市税のスマートフォン決済の導入によるDXの推進
- そのほか様々な施策を展開

小規模事業者・個人事業主へ
市独自給付10万円を2度

雇用維持・事業継続 約**534**億円

- 過去最大の市内中小企業への資金融資
- 小規模事業者等に対する給付金
- さいたま応援プレミアム付商品券
- キャッシュレス決済のポイント還元
- 公共交通事業者に対する支援金
- 商店会への支援
- 雇用調整助成金の緊急相談会及び申請費用の補助
- 県感染防止対策協力金の上乗せ支援金
- 市内企業のCX/DX支援
- そのほか様々な施策を展開

さいたま市誕生20周年

「市民の日」「市民憲章」「輝く未来と希望のまちプラン」

市民とともに、希望へ

「市民力」×「実行力」!

市民とともに、SDGs先進度「NO.1」都市に

徹底した現場主義!
12年間の現場訪問数
1,216回

トップレベル SDGs 先進度ランキング **全国第1位**
国連の「持続可能な開発目標」(SDGs)への自治体の取り組みを、日本経済新聞社が全国815市区を対象に調査。総合評価でさいたま市が先進度1位に。
※日本経済新聞社調査

トップレベル 全20政令指定都市 **第1位** 幸福度
※「全47都道府県幸福度ランキング 2020年版」(東洋経済新報社)

グラフに注目! 10.4ポイントUP
トップレベル 「住みやすい」 **過去最高 86.3%**
平成20年度(市長就任前)から10.4ポイント上昇して、過去最高になりました。
※令和2年度さいたま市民意識調査(さいたま市)



01 **トップレベル** 転入超過(0~14歳) **全国第1位**
子どもの転入超過数は全国1位。さいたま市は子育て世代に選ばれるまちです。平成27年から**6年連続**。
※「住民基本台帳人口移動報告(2019年結果)」総務省

06 **しあわせ倍増** 扶助費の伸び率 **第1位**
高まる保育需要などに対応するための「扶助費」。平成20年度(市長就任前)と令和元年度を決算ベースで比較した伸び率(2.3倍)は、政令指定都市の中で第1位。令和3年度(年度当初予算)は2.7倍に増やしました。

12 **見える改革** 情報公開ランキング **第1位**
12年前は全国17政令指定都市の中で最下位でしたが、平成24年には第1位になりました。
※全国オプトスマン連絡協議会発表

19 **グラフに注目!** **しあわせ倍増** 「住み続けたい」 **85%超**
平成20年度(市長就任前)から2.8ポイント以上上昇。85%超えは3年連続です。
※令和2年度さいたま市民意識調査(さいたま市)

02 **トップレベル** 少ない借金(市民1人当たり) **第2位**
市債残高(借金)は市民1人当たり換算すると34.8万円。政令指定都市の中で2番目に少ない金額です。
※令和2年10月市財政課「さいたま市の市政と財政状況」

07 **グラフに注目!** **しあわせ倍増** 福祉予算(民生費) **約2.1倍**
福祉などに使う「民生費」は、平成20年度(市長就任前)予算から1126億円増額し、令和3年度は2186億円に。他の予算が横ばい、または減少する中で約2.1倍に増やしました。
※年度当初予算(目的別)の比較

13 **見える改革** 公民連携ランキング **第1位**
平成27年、日経BP社の格付けで96.51点を獲得。「AAA」に格付けされました。

20 **しあわせ倍増** 小中学生の学力 政令指定都市 **第1位**
※令和元年度全国学力・学習状況調査

03 **トップレベル** 財政力指数(政令指定都市) **第3位**
安定的な財政運営を行っていることを示す指数で、政令指定都市の中で3番目に高い財政力を備えています。
※令和元年度普通会計決算の比較

08 **しあわせ倍増** 高齢者福祉関係費 **約1.8倍**
平成20年度(市長就任前)は712億円でしたが、令和3年度は1264億円に増やしました。
※年度当初予算の比較
※老人福祉費、皆保険費、老人保健事業特会、後期高齢者医療事業特会、介護保険事業特会を含む

14 **生む改革** 財源創出額 **1,646億円**
3期11年間の歳入増効果。歳出削減効果を併せて1646億円の新たな財源を生み出しました。
※令和2年度は含んでいません。(現在集計中)

21 **しあわせ倍増** 英語力 中学生 **全国第1位**
※令和元年度全国学力・学習状況調査

04 **トップレベル** 週1回以上運動する人の割合 **第2位**
平成22年度の39.7%から令和2年度には**66.6%**、26.9ポイント上昇しました。政令指定都市の中で第2位です。

09 **しあわせ倍増** 障がい者福祉関係費 **約2.4倍**
平成20年度(市長就任前)は168億円でしたが、令和3年度は396億円に増やしました。
※年度当初予算の比較

15 **人の改革** 区役所の窓口満足度 **97.4%**
区役所改革の成果です。来所された市民の皆さんに窓口対応の満足度を調査したところ、令和2年度には97.4%になりました。

22 **しあわせ倍増** 自己肯定感 小中学生 **第1位**
※「自分には良いところがある」と感じている小中学生
※令和元年度全国学力・学習状況調査。政令指定都市の比較

05 **トップレベル** SSCの経済波及効果 累計約 **824億円**
全国初のさいたまスポーツコミッション(SSC)の経済波及効果。平成23年度~令和元年度の累計(さいたま国際マラソンを含む)です。

10 **しあわせ倍増** 子育て支援関係費 **約2.6倍**
平成20年度(市長就任前)は380億円だった「児童福祉費」を、令和3年度は978億円に増やしました。
※年度当初予算の比較

16 **人の改革** 区役所の窓口満足度(押印の見直し) **91.0%**
令和2年10月に始まった「押印の見直し」。対象となる手続きが半年ほどでほぼすべて完了しました。市民サービスの向上や窓口手続きのオンライン化推進が加速します。

23 **しあわせ倍増** 学校へ行くのが楽しい 小中学生 **第1位**
※令和元年度全国学力・学習状況調査。政令指定都市の比較



11 **しあわせ倍増** 認可保育園の定員数 **約2.6倍**
平成20年度(市長就任前)と令和3年度の定員数を比較すると、1万7千人以上も大幅に増やしました。

17 **人の改革** 職員満足度(働きがい) **約11ポイントUP**
平成22年度の満足度は62.4%でしたが、令和2年度の調査では73.0%に、7割以上の職員が「働きがい(仕事での成長や達成感)」を感じています。
※令和2年6月調査

24 **しあわせ倍増** 都市公園の増加数 **170カ所以上**
平成20年度(市長就任前)は824カ所でしたが、これまでに170カ所以上増やしました。

25 **しあわせ倍増** 交通事故 **57.9%減**
交通安全教室や啓発活動などの安全対策によって、大幅に減少しました。
※平成20年度(市長就任前)との比較

18 **人の改革** 女性管理職登用率 **第1位**
女性管理職(課長相当職以上)登用率は21.4%で、政令指定都市の中で第1位です。
※令和2年4月内閣府調べ

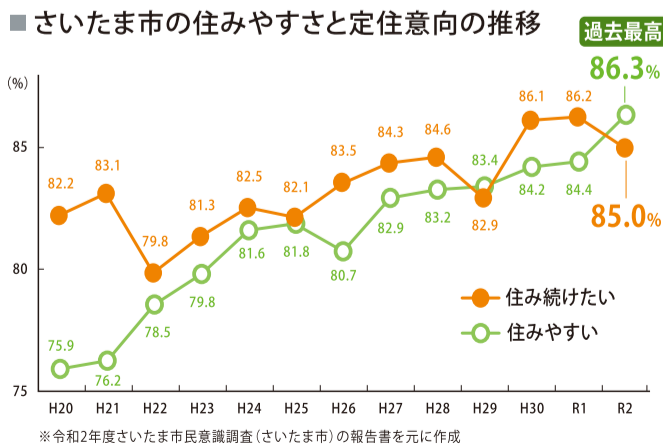
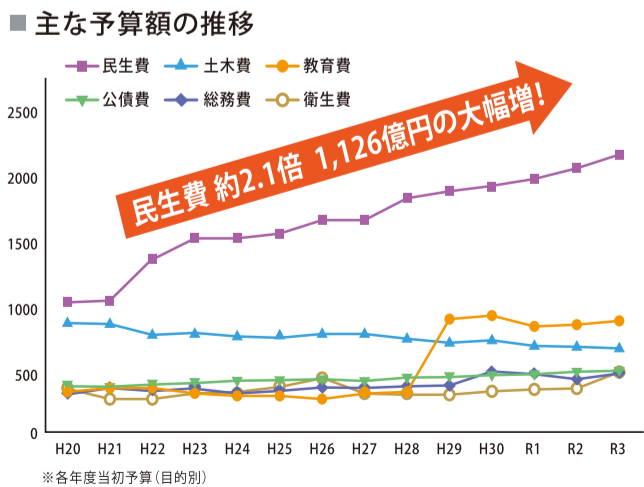
26 **しあわせ倍増** 刑法犯認知件数 **62.3%減**
地域の防犯パトロールの強化などによって、大幅に減少しました。
※平成20年度(市長就任前)との比較

27 **しあわせ倍増** セーフコミュニティ **国際認証取得**
政令指定都市全域での取得は、全国初

28 **しあわせ倍増** ノーマライゼーション条例 全国の政令指定都市に先駆けて制定

29 **しあわせ倍増** 県内初! SDGs未来都市に選定

30 **しあわせ倍増** 第8回マニフェスト大賞「マニフェスト大賞 首長グランプリ」「最優秀マニフェスト賞」獲得



▼ 詳しくは、清水はやとホームページ<実績>をご覧ください。

日本一地域の絆で結ばれたまち

市民一人ひとりがしあわせを実感できるまち

